

【3-11】

湾・灘の区分	大阪湾
取組の名称	アドプト・シーサイド・堺浜
事業期間及び事業費	事業期間:2013年度(平成25年度)～継続中 事業費:不明
事業実施主体	一般社団法人 大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア (CIFER・コア)
事業体制、モニタリング体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[堺浜自然再生ふれあいビーチ(砂浜)の所管]堺市建築都市局</li> <li>・[美化清掃活動で収集したゴミの処理]堺市環境局</li> <li>・[清掃用具の貸出、美化清掃活動中の事故に備えた保険の加入等]大阪府港湾局</li> <li>・[生き物観察会、美化清掃活動の実施]一般社団法人 大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア(CIFER・コア)</li> <li>・[生き物観察会の実施]公益社団法人 大阪自然環境保全協会</li> </ul>
事業の背景・目的	<p>この砂浜は、堺泉北港の北泊地において、市が臨海部の生物多様性の回復・保全に向けた「実験」の場として造成したが、ゴミが頻繁に漂着し、景観が損なわれる等していた。</p> <p>この課題に対する対策の一つとして、行政と法人が相互に協力し、地域に愛されるきれいな海や海岸環境の保全に取り組むことを目的に協定を締結して美化清掃活動を実施している。</p> <p>また、この砂浜で生き物観察会を実施していた法人とも連携して活動を進め、現在に至っている。</p>
事業場所の詳細	<p>出典: 国土地理院HP (<a href="http://maps.gsi.go.jp/">http://maps.gsi.go.jp/</a>)より作成</p>

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜の美化清掃活動</li> <li>・磯の生き物観察</li> </ul> 
モニタリング(効果の確認方法)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[調査項目]実施回数、参加者数、ごみ回収量</li> <li>・[調査時期・頻度]年1回(例年6月頃に実施)</li> <li>・[調査場所]堺浜自然再生ふれあいビーチ(砂浜)</li> <li>・[調査点数]1箇所</li> <li>・[効果の確認方法]美化清掃活動実施主体(CIFER・コア)の企画及び募集により把握</li> </ul>
取組による効果・影響及びその判断基準等	<p>堺浜の維持管理、臨海部の生物多様性の回復・保全に向けた「実験」に、一定の寄与ができていると考えており、また、生き物観察会の参加者へのアンケートでは、生物多様性の重要性についての理解が深まったとの回答が得られている。</p>
モニタリング結果の活用方法	<p>美化清掃活動実施主体(CIFER・コア)による企画及び募集、HP等による活動報告に活用</p>
関係機関等における連携・情報共有の方法	<p>CIFER・コア、大阪府港湾局、堺市の三者で協定書を締結して連携体制を構築</p>
現状での課題	<p>北泊地は大和川から流下してきたゴミが流れ込みやすい地形になっており、台風等の大雨の後には砂浜へ大量のゴミが漂着する。</p>
今後の予定等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本取組は、今後も継続して実施する予定。</li> <li>・マイクロプラスチックが世界的な海の環境問題となっていることから、清掃活動はペットボトルや廃プラスチックを中心に実施している。</li> </ul>
取組事例についての発表資料等	<p>瀬戸内における水環境を基調とする海文化-瀬戸内の海・浜辺と保全の取り組み-(公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会)、令和元年10月</p>
情報提供元	<p>堺市 建築都市局 都市再生部 臨海整備課</p>